

小さな学校でも心大きく豊かな学校にするために、全児童職員一丸となりPTA・地域の協力を得て教育を実践してきました。2回目はわずかではありますが、達成度が上がった項目が多く見られました。次のページにもあるように、全職員で協議・検討し、来年度の教育課程に活かしていきます。

## 平成28年度学校自己評価

深谷市立豊里小学校

評価の基準

|            |                 |
|------------|-----------------|
| よくあてはまる    | (9割以上の達成状況)     |
| ややあてはまる    | (6割以上9割未満の達成状況) |
| あまりあてはまらない | (3割以上6割未満の達成状況) |
| あてはまらない    | (3割未満の達成状況)     |

### 学校自己評価集計結果(職員)



## 成果・協議の検討事項について

### 特に成果が見られたもの

- 教育ビジョンについては全職員共通理解の下、指導が継続されている。
- 人権教育に関する適切な取組や学級経営がなされ、お互いを支える人間関係が育っている。
- 学校全体での情報交換や協力体制が図られ、積極的な生徒指導・支援が行われた。
- 業前運動や業間運動の工夫や深谷市アスリート事業、体育エキスパートの招聘などにより、児童の体力向上が図れた。

### 改善が必要なもの

- 学校園については、さらに計画的に活用したい。
- 自ら安全な生活を営もうとする実践力(交通安全・遊び・廊下歩行等)について、さらなる指導の徹底を図る。
- 学校行事のために準備などが授業に食い込んでしまっているため、教育課程について見直しが必要である。

#### 〈行事の精選〉

→フリー参観日には、子ども祭ではなく他の教科や「子ども安全見守り講座」を実施する。

(子ども祭は準備にも時間がかかり、授業時数が不足するため)

#### 〈教科の年間指導計画の見直し〉

→児童集会で使う物の準備や音楽会、鼓笛練習など、行事に関連する活動を、総合的な学習の時間や生活科の年間指導計画の中に組み込む。

(学年担任、教科主任を中心に)

### その他、要望など

- ・伝統である鼓笛の練習は本当に大変である。練習の仕方を確認した後は、ローテーションをお願いしたい。  
→音楽主任を中心に指導方法について計画を立て、共通理解を図って指導にあたる。
- ・地域行事への参加等、休日勤務について割り振りをしてほしい。  
→年度当初に一覧表を作成し、誰がどの行事に参加するか計画を立て、見通しがもてるようにする。
- ・予鈴が3分前では児童はチャイム席が守れないので、5分前に鳴らしてほしい。  
→来年度は5分前に予鈴を鳴らす。